

令和7年度 学校教育目標・重点取組

<学校教育目標>

「自ら考え 人とつながり 夢をもって とともに学ぶ子の育成」

↑ ↑ ↑ ↑
主体的に考える 聴く・思いやる 未来を見つめる 地域を大切にし、仲間と育ちあう



第二中学校校区の「めざす子ども像」

★「自ら考え行動し、人や社会とつながり、夢をもって生きる子」

学校と地域が「めざす子ども像」

★あいさつができる ★「ありがとう」が言える
★話をしっかり聞ける ★人のきもちを考えられる

【学校と家庭の合言葉】

★「ぐんぐんのびろ！ぐんげっこ！」

**郡 家 は
HOME !**

～学校・家庭・地域
で支える子どもたち
の居場所づくり～

どの子ども毎日、
安心して笑顔で
通う学校、子ども
たちの心の
HOME へ

【令和7年度の重点取組】

1, 「確かな学力」の育成

- ① すべての教員が学校教育目標を念頭におき、知識・技能の確実な習得だけでなく、それを活用して思考し、判断し、表現する力の育成に取り組めます。
- ② 二中校区小中一貫9年間を見通した教育を推進し、研究会の開催、指導方法の系統性と連続性の研究に取り組めます。
- ③ 教科担任制を推進し、子ども主体の協同的な学習を通して、全員が考えを深め、高めあうことができる授業づくりに取り組めます。
- ④ 個に応じた指導・支援を行い、児童一人ひとりのニーズに応じた教育を推進します。
- ⑤ ICT 機器を活用した教育の充実・推進を行い、多様な人や知識とつながる豊かな教育に取り組めます。
- ⑥ 家庭学習の習慣の定着とともに、自学自習力の育成に取り組めます。

2, 「豊かな人間性」の育成

- ① 道徳科を要として、計画的に道徳教育を行うとともに、机上の学習だけでなく地域の人や出来事を題材にした学習を通じて、実社会とのつながりを意識した系統性のある道徳教育に取り組みます。
- ② 児童が自己肯定感や自己有用感を持ち、自らの生き方について夢や希望を育むことができるよう、キャリアパスポートを活用しながらキャリア教育の充実を図ります。
- ③ 一人ひとりが違いを知り、お互いを認め合うことができる人権教育に取り組みます。
- ④ 全教職員が共通理解のもと組織的かつ一貫性をもって対応できるように、校内生徒指導体制を整備するとともに、児童の個別の課題に対して粘り強く取り組みます。
- ⑤ 特別活動を中心に自分や集団の課題に気づき、課題解決に向けて行動できる子を育成に取り組みます。

3, 「健やかな心身」の育成

- ① 児童の体力・運動習慣を分析、課題の改善・解消に向けた体育の授業に取り組みます。
- ② 校内でのスポーツ大会や集団遊び、重点的に運動に取り組む週間などを設定し、児童が自身の健康に関心を持ち、目標をもって日常的に体を動かすことができるように取り組みます。
- ③ 食を大切に作る心の育成や、食に関する正しい知識の習得をすべての学年で取り組みます。また、家庭と連携し食に関する指導に取り組みます。
- ④ 「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめや不登校の未然防止や早期発見・早期対応をいじめ不登校対策委員会を中心に組織的、計画的に取り組みます。
- ⑤ いじめは、「どの子どもにも、どの学級においても起こり得るもの」であることを十分に認識し、一人ひとりの成長につながる指導に取り組みます。

4, 学校力の向上

- ① 自他の生命尊重を基盤とし、「自助」「共助」の力を高めるため、安全教育・防災教育を計画的に取り組みます。
- ② 大阪府北部地震などの自然災害における教訓をもとに、家庭や地域と連携した学校安全体制の強化に取り組みます。(危機管理マニュアルの見直し、整備など)
- ③ 教科担当制(交換授業)実施等により、専門性を生かした指導力の向上を図ります。
- ④ 学級・学年を教員が組織的にかかわることによって、複数の目で児童の安全を見守り、トラブルや事故が起こった際など迅速に連携、対応を行っていきます。児童の心理的安全性の向上に取り組みます。
- ⑤ 業務の効率化により授業準備、授業、児童理解にしっかりと向き合える時間をとれるように働き方改革に取り組みます。
- ⑥ 「生活科」「総合的な学習」の探究学習を通じて地域のつながりを実感できる取り組みを行い、自ら地域に貢献しようとする意欲を育てます。
- ⑦ 学校ホームページや授業参観などを通じて、学校教育活動を随時地域に発信していきます。